

**2021年06月29日（火）【外為Lab】松田哲**  
**タイトル：【オリンピック直前と米国独立記念日】**

毎年の7月4日、今年（2021年）は日曜日ですが、その日は米国独立記念日です。

この米国独立記念日から、「夏休み相場」が始まります。

日本人の感覚からすると、少々気が早いと思われる時期ですが、欧米の市場参加者には、2か月間の夏休みを取る人もいます。

そういった長期の夏休みを取る人たちにしてみれば、7月8月のまるまるが夏休み、といった感覚なのでしょう。

「夏休み相場」になると、市場参加者が少なくなります。

日本のお盆のころ（8月中旬）になると、極端に市場参加者がいなくなります。

そうなる、マーケット（外国為替市場）での取引が減少したり、時には、為替相場は予期せぬ値動きをしたり、といったことが起こります。

予期しない値動きの場合は、妙にボラティリティが高くなったり、といった通常の実験則が通じない難しい相場になったりします。

+++++

今年（2021年）の場合は、米国独立記念日（7月4日）の直前の7月2日（金）に、米国雇用統計の発表があるので、その重要な米国の経済指標を見てから、夏休みに入る市場参加者も多いことでしょう。

+++++

毎年同じことを繰り返し述べていますが、夏休みの時期は相場から離れた方が良い、と考えます。

できれば、「夏休み相場」は、しっかり休んだ方が良い、と毎年、声を大にしています。

特に、今年（2021年）は、東京オリンピックが開催されます。

東京オリンピックの開会式は、7月23日ですが、競技種目によっては、7月21日から始まります。

東京オリンピックの開催の是非には、様々な意見があり、私も、このコロナウイルス蔓延の状況での開催には反対であり、中止するべき、と考えます。

少なくとも、全て無観客で行うのが相当と考えます。

しかし、現実を見るのならば、全て、なし崩し的に、東京オリンピック、パラリンピックは開催されるでしょう。

+++++

東京オリンピックが開催される期間は、完全に、毎年の「夏休み相場」と一致します。

だから、なし崩し的に開催される東京オリンピックを、テレビで観戦して、「夏休み相場」の期間を過ごしたい、と考えています。

+++++

個人的には、第1回目のワクチン接種を終えて、東京オリンピックの開催前には、第2回目の接種も完了する予定ですが、東京オリンピックの開催期間中に、外出をしない方が良いのだろう、と考えています。

東京オリンピックに参加するウガンダの代表団から、コロナウイルスの陽性者が出たことを考えると、海外から参加する選手団には、コロナウイルスの感染者が、必ず、一定量いることが確実だ、と考えます。

もちろん、その数は、限定的であり、少数だろう、と推測されます。

しかし、たった一人でもすり抜けることが有れば、感染拡大の起因になり得る事象、と考えます。

選手団よりも、海外のマスコミ関係者の来日は、感染拡大の起因になり得る可能性が高い、と危惧しています。

+++++

夏休み相場が始まること、そして、夏休み相場の最中に、東京オリンピックが開催されることで、外国為替市場は、概して、静かな展開を予測しています。

つまり、今年（2021年）の夏休み期間は、大きくは動かないのだろう、と考えています。

ただし、東京オリンピックの開催期間中に、コロナウイルスの感染爆発が起こる可能性もあり得るので、その点には、注視したい、と考えています。

+++++

(2021年06月29日東京時間13:55記述)